

【SDGsに関する取組事例】

○阪急阪神ホールディングス

<p>◆阪急西宮ガーデンズにおける環境施策 (阪急電鉄、阪急阪神ビルマネジメント、阪神園芸)</p>	
<p>スカイガーデンなどの屋上緑化や壁面緑化を積極的に採用し、ヒートアイランド現象の軽減に努めています。また、太陽光発電パネルや風力発電機の設置、雨水の散水への利用など、自然エネルギーの活用も図っています。このほか、高効率ターボ冷凍機・氷蓄熱システム・ガスコージェネレーションシステムの採用、LED照明の活用や自然光を取り入れる設計等により省エネルギー化を図っています。</p>	
<p>◆阪神甲子園球場の太陽光発電 (阪神電気鉄道)</p>	
<p>阪神甲子園球場では、内野席全体を覆う屋根「銀傘」上に太陽光発電設備を設置し、2010年3月から稼働させています。推定年間発電電力量は約193,000kWhで、これは阪神タイガースが甲子園球場で行うナイトゲーム(年間)で使用するナイター照明の電力量に相当し、火力発電に比べて、CO2排出量を年間で約150トン削減することが可能です。</p>	
<p>◆1000000人のキャンドルナイト@OSAKA CITY (阪神電気鉄道、阪急電鉄)</p>	
<p>ビルの照明やネオンを消灯し、まちにキャンドルの明かりを灯すイベントを地域企業と協力して西梅田・茶屋町でそれぞれ開催。環境や普段の暮らしを見つめ直すきっかけとなることを目指しています。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、西梅田開催は2020年度および2021年夏の開催は中止。茶屋町開催は2020年度は中止し、2021年はオンラインコンテンツを中心とした形で2021年9月に開催予定。</p>	
<p>◆阪急阪神 ゆめ・まちチャレンジ隊 (阪急阪神ホールディングスグループ各社)</p>	
<p>まちの未来を担う子ども達の健やかな成長を応援します。</p>	
<p>◆「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」や「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」による市民団体との協働 (阪急阪神ホールディングス、「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成先市民団体)</p>	
<p>グループ従業員の募金をもとに、会社が同額を上乗せして、阪急阪神沿線の市民団体を助成しています。また、「阪急阪神 ゆめ・まちソーシャルラボ」では、阪急西宮ガーデンズ内の「スタジモにのみや」や駅を中心に、お客様参加型のワークショップや展示等のイベントを開催。地域のみなさまと共に、より良いまちづくりへの機運を高めています。</p>	

○東急グループ

<p>◆東急財団による社会貢献活動</p>	
<p>公益財団法人東急財団は、2019年4月、「とうきゅう環境財団」「とうきゅう留学生奨学財団」「五島記念文化財団」を合併して誕生しました。旧3財団の設立時の想いを大切に引き継ぎ、豊かな社会の実現を目指しています。 ・環境部門：多摩川および流域の環境保全に関する調査研究への助成や広報活動、小学校への環境副読本の配布など ・国際交流部門：日本の大学院で学ぶアジア・太平洋地域からの留学生に対する修学・研究活動への資金援助など ・文化芸術部門：オペラ・美術分野の有能な新人への顕彰と海外での研鑽助成、オペラ公演への助成など</p>	
<p>◆とうきゅうキッズプログラム (東急グループ各社)</p>	
<p>小学生を対象に、親子で一緒に職業体験や施設見学、ものづくりなどのプログラムにチャレンジする体験型のイベントを開催。電車の運転や修理体験、バス営業所の見学、ブライダルアテンダント体験など、さまざまなプログラムを通じて社会体験をすることで好奇心旺盛な子どもたちの成長を応援しています。</p>	
<p>◆東急会による地域貢献活動 (東急グループ各社)</p>	
<p>国内外の多くの地域でグループ各社がさまざまな事業を展開しているなかで生まれたのが、各地域で企業活動をしている各社からなる東急会です。現在、国内23地区と海外4地区において、音楽、文化、スポーツなどのイベントを通じた地域の皆さまとのコミュニケーション活動や清掃ボランティアなどの地域貢献活動を幅広くおこなっています。</p>	
<p>◆事業活動における取組 (二子玉川ライズ、南町田グランベリーパーク、世田谷線など)</p>	
<p>自然と共生するまち(二子玉川)や多世代が集えるまち(南町田)など、行政やNPOといった団体と連携した持続可能なまちづくりを推進しているほか、世田谷線では水力および地熱のみで発電した再生可能エネルギー100%の電力による運行を行っています。</p>	
<p>◆東急子ども応援プログラム (東急株式会社)</p>	
<p>東急線沿線で活動する子どもを取り巻く社会課題の解決に取り組む団体へ、助成金の支給などを行うプログラムです。子どもたちの幸せと安全・安心で心豊かに暮らせる地域の持続的な発展を願って2020年度からスタートしました。助成先は、毎年の公募で決定します。2020年度は10団体へ総額844万円の助成を実施しました。</p>	